

令和2年 第3回定例会

9月9日～9月15日（7日間の会期）

9月9日から15日までの7日間の会期で開催され、報告2件、令和元年度決算認定8件、条例4件、補正予算8件、その他10件の議案が提出され原案のとおり可決・認定・承認されました。また、請願については、採択となりました。



決算特別委員会を進行する
櫻井 実 委員長

令和2年第3回定例会におきましても、新しい生活様式のもと最大限の対策を行い、また議場内での傍聴につきましても、お断りさせて頂いていただき開催いたしました。住民の皆様には、ご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

決算特別委員会報告

開会初日（9月9日）本会議に提案された令和元年度境町一般会計及び特別会計並びに水道事業会計の決算認定については、委員10名による決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

委員会は、9月14日に開催され、慎重に審査をした結果いずれの会計とも認定すべきものと決定し、9月15日の本会議において委員長報告のとおり全会一致をもって認定されました。

監査委員決算審査報告

5月25日(月)・8月25日(火)に、令和元年度境町一般会計及び特別会計6件並びに水道事業会計についての審査を行い、その結果次のとおり報告がありました。

境町監査委員 山本 隆行
境町監査委員 須藤 信吉

○一般会計

歳入財源は、ふるさとづくり寄付金、企業版ふるさとづくり寄付金及び災害支援のためのふるさとづくり寄付金代理受付等による寄付金、基金からの繰入金が増となり、これらの財源を活用した施策・事業を効果的に実施した結果であることが認められる。

歳出については、国・県補助金、基金等の財源を組み合わせ、極力町の負担を軽減する取組が何え、順調に執行され、魅力あふれる町づくりのための事業を展開して行財政運営に努められたことが確認できる。

○特別会計

独立採算制の原則に則って財源確保のための徴収率向上に努められた。

国民健康保険事業については、国保加入者数、国保税収入が減となったものの、保険者努力支援金

等の獲得により、順調に業務が遂行できていることを確認できる。

介護保険事業については、地域支援事業交付金等を活用した介護予防事業を実施して、給付費の削減に努め基金の積立を行うなど、順調に業務が遂行できていることが確認できる。

公共下水道事業や農業集落排水事業については、処理場等の老朽化に伴い整備件数の増加が予想されることから、処理施設の最適整備構想化計画を策定し、効率的な整備に努めていただきたい。

今後の行財政運営に当たっては、より効果的かつ効率的な実施に努め、多様化している住民ニーズや社会情勢に順応した事業等を計画的に実施していくよう望むものである。

水道事業では、人口減少に伴う収益減が予想されるなか、老朽化した浄水設備の更新など解決すべき問題は山積しており、こうした状況下にあつて安心して利用できる水道水の供給を持続できるように、会計の外部公会計化や老朽化に対応するための更新計画及びこれに要する費用等を明記した経営戦略計画の策定等を要望する。